東海環状自動車道の 概　要

東海環状自動車道は、名古屋市の周辺30～40km圏に位置する四日市市、東員町、いなべ市、大垣市、岐阜市、関市、土岐市、豊田市等の諸都市を有機的に結ぶ延長約153kmの高規格道路※です。また、新東名高速道路、新名神高速道路、伊勢湾岸自動車道と一体となって、我が国の重要幹線道路である東名高速道路、名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道及び東名阪自動車道を相互に連絡しながら環状を形成する名古屋都市圏の骨格道路です。

新四日市JCT～養老IC間は、新四日市JCTで新名神高速道路と分岐後、員弁川の右岸を北上し、東員町を経て、いなべ市北勢町から三重県と岐阜県の県境を越え、岐阜県養老郡養老町に連絡します。その後養老JCTにて名神高速道路と接続します。

※高規格道路とは…国土を縦貫あるいは横断し、全国の主要都市間等を連結して、その時間距離の短縮を図る国土の骨格を支える基幹的な高速陸上交通ネットワークとして、高規格幹線道路と地域高規格道路などを一体とした規格の高い道路。

■東海環状自動車道プロフィール

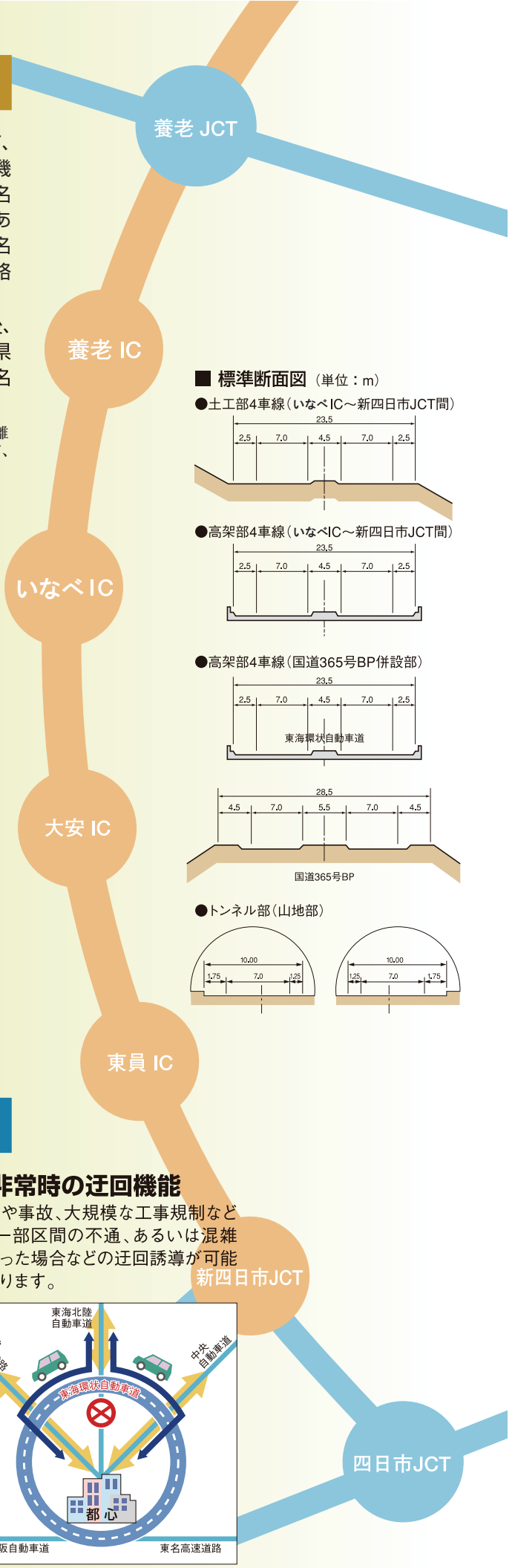
	養老～北勢	北勢～四日市
道路構造規格	第1種第2級　自動車専用道路	第1種第2級　自動車専用道路
設計速度	100km/h	100km/h
道路幅員	4車線　標準幅員　W=23.5m	4車線　標準幅員　W=23.5m
道路構造	切土、盛土、橋梁、トンネル	切土、盛土、橋梁

IC等

連絡位置	IC	連絡道路
養老郡養老町	養老IC	県道養老平田線
いなべ市北勢町	いなべIC	主要地方道北勢多度線
いなべ市大安町	大安IC	一般国道365号バイパス
員弁郡東員町	東員IC	一般国道365号バイパス
四日市市北山町	新四日市JCT	新名神高速道路

事業化等

	養老～北勢	北勢～四日市
事業化年度	平成19年度	平成2年度
事業区間	岐阜県養老郡養老町大跡～三重県いなべ市北勢町阿下喜	三重県いなべ市北勢町～三重県四日市市北山町
事業延長	約18km	約14km（いなべ市9.8km、員弁郡東員町4.2km、四日市市0.4km）
都市計画決定	平成19年4月24日	平成4年1月21日



■ 標準断面図（単位：m）

●土工部4車線（いなべIC～新四日市JCT間）

●高架部4車線（いなべIC～新四日市JCT間）

●高架部4車線（国道365号BP併設部）

●トンネル部（山地部）

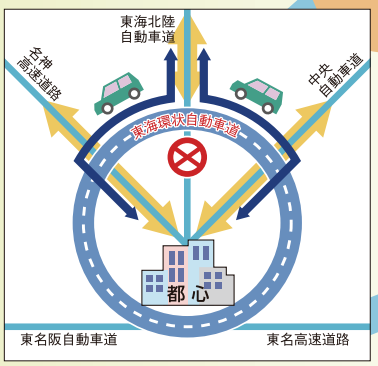
東海環状自動車道の 機　能

■分散導入機能

郊外から都心部への交通を分散して導入する複数のルートが確保でき、都心部の交通集中が緩和されます。

■バイパス機能

都心に起終点を持たない通過交通をバイパスさせ、都心部の交通混雑を緩和します。

■非常時の迂回機能

災害や事故、大規模な工事規制などで、一部区間の不通、あるいは混雑があった場合などの迂回誘導が可能になります。